

地 理 A

(解答番号 ~)

第1問 地理的技能とその活用, および日本の自然災害と防災に関する次の問い(A・B)に答えよ。(配点 20)

A 地理的技能とその活用に関する次の問い(問1~3)に答えよ。

問1 次の図1は, 地点Dを中心とした正距方位図法による世界地図である。図1に関することがらについて述べた文として**適当でないもの**を, 後の①~④のうちから一つ選べ。

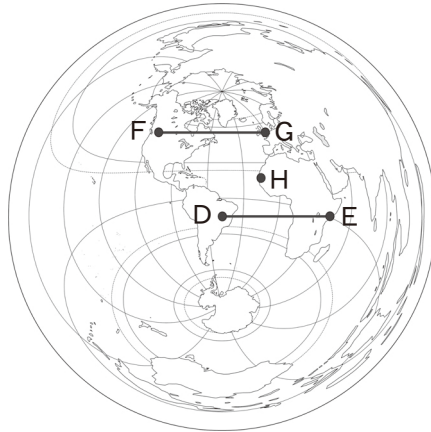
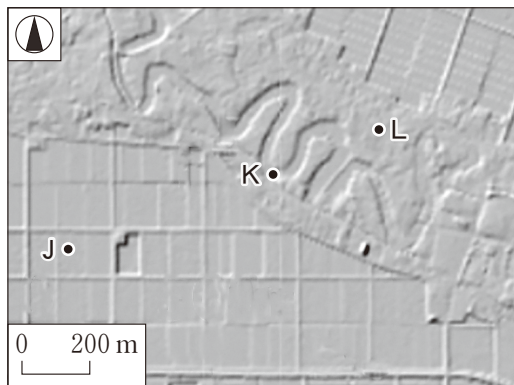


図 1

- ① 図中に同じ長さで示した, 線分D—EとF—Gの地球上の実距離は等しい。
- ② 地図の中心から離れるほど, 形や面積のひずみが大きくなる。
- ③ 地点Dからみた地点Hの方位は, 北東である。
- ④ 地点Dから地図の外周までの地球上の実距離は, 約2万 km である。

問 2 次の図 2 は、ある平野の氾濫原について陰影をつけて地形の起伏を表現した地図であり、地点 J～L では、後の a～c のいずれかの地形がみられる。また、後の文アとイは、地点 J～L のいずれかでみられる土地利用について述べたものである。地点 L でみられる地形と土地利用との組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 2



地理院地図により作成。

図 2

地 形

- a 旧河道
- b 後背湿地
- c 自然堤防

土地利用

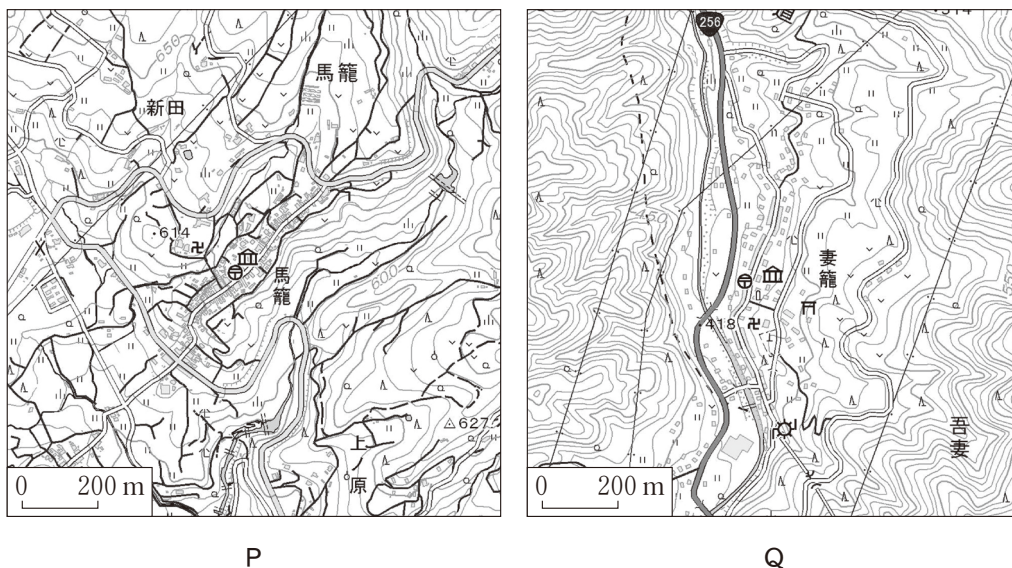
- ア 主に集落や畑として利用されている。
- イ 主に水田として利用されている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
地 形	a	a	b	b	c	c
土地利用	ア	イ	ア	イ	ア	イ

地理 A

問 3 次の図 3 中の P と Q は、かつて宿場町として栄え、現在は旧街道に沿って伝統的な建物が並び観光地となっている二つの地域を示したものである。図 3 に関することがらについて述べた文として **適当でないもの** を、後の①～④のうちから一つ選べ。

3



電子地形図により作成。

図 3

- ① P の宿場町は、尾根に挟まれた谷底を通る街道に沿って形成された。
- ② P の地域では、旧街道に沿って南西へ向かうほど標高が低くなっている。
- ③ Q の宿場町は、西へゆるく傾斜する斜面を通る街道に沿って形成された。
- ④ Q の地域では、かつて宿場町であった集落の西側に国道が整備されている。

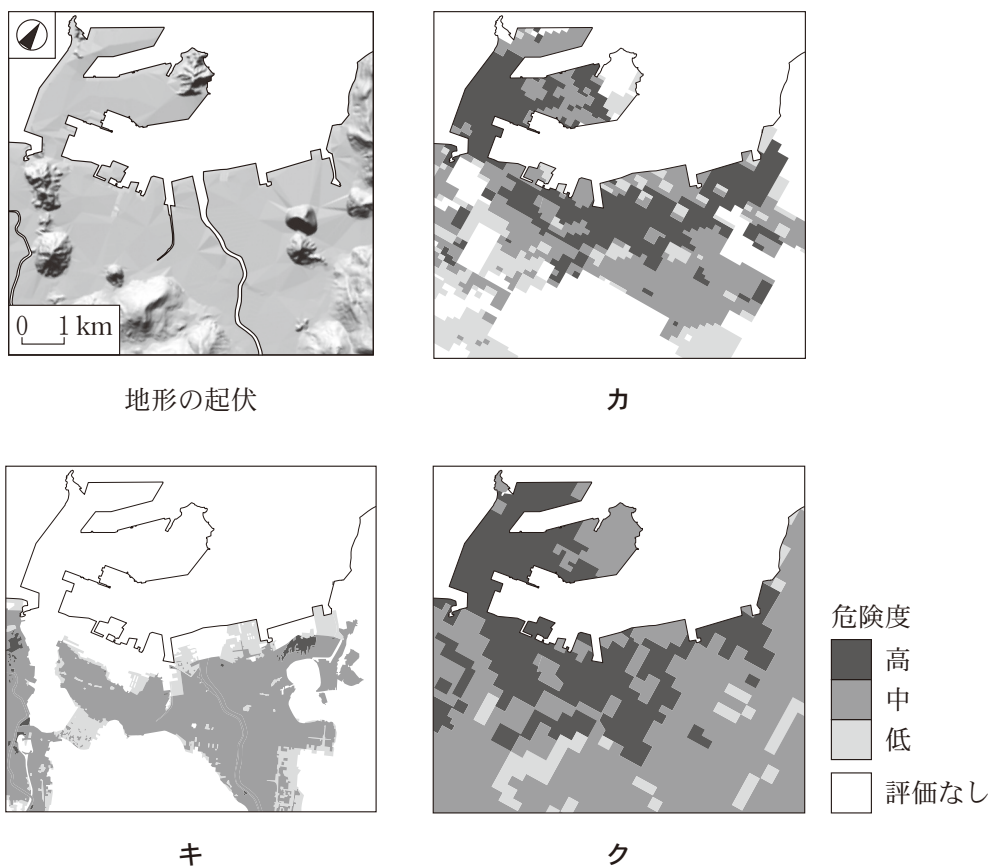
B 日本の自然災害と防災に関する次の問い(問 4～6)に答えよ。

問 4 次の文章は、日本列島周辺で発生する地震の特徴と、その被害や対策について述べたものである。文章中の下線部①～④のうちから、**適当でないもの**を一つ選べ。

日本列島周辺では、主に海溝型地震と直下型地震が発生する。海溝型地震は、海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込む際に①蓄積されたひずみが急速に解放されることで発生する。内陸部の活断層がずれ動いて発生する直下型地震では、②人々の居住地と震源が近い場合に被害が大きくなりやすい。地震による被害には、強い揺れによる建物の倒壊、地盤の亀裂や沈下、地すべりなどがあり、③建物の被害を軽減するため、耐震化が進められている。また、④地震発生を事前に予知して、緊急地震速報が発せられている。

地理 A

問 5 次の図 4 は、海に面したある地域について陰影をつけて地形の起伏を表現した地図と、自然災害の種類別の危険度を示したものであり、カ～クは、液状化、河川による洪水、地震の揺れのいずれかである。自然災害名とカ～クとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 5



凡例の評価なしには、危険度がかなり低い地域を含む。自治体の資料などにより作成。

図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
液状化	カ	カ	キ	キ	ク	ク
洪水	キ	ク	カ	ク	カ	キ
地震の揺れ	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問 6 次の写真 1 中のサ～スは、日本のいくつかの地域における自然環境や自然災害に対する備えを撮影したものである。また、後の文 X～Z は、サ～スのいずれかの特徴について述べたものである。サ～スと X～Z との組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 6



サ

シ

ス

写真 1

- X 強風から家屋を守るためのものである。
- Y 洪水時の浸水被害を軽減するためのものである。
- Z 積雪時の移動通路を確保するためのものである。

	①	②	③	④	⑤	⑥
サ	X	X	Y	Y	Z	Z
シ	Y	Z	X	Z	X	Y
ス	Z	Y	Z	X	Y	X

地理A

第2問 世界の生活・文化に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問1 次の写真1中のア～ウは、後の図1中のA～Cのいずれかの地域における、伝統的な楽器の演奏や儀式の様子を撮影したものである。ア～ウとA～Cとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 7

省略

省略

ア

イ

省略

ウ

写真 1

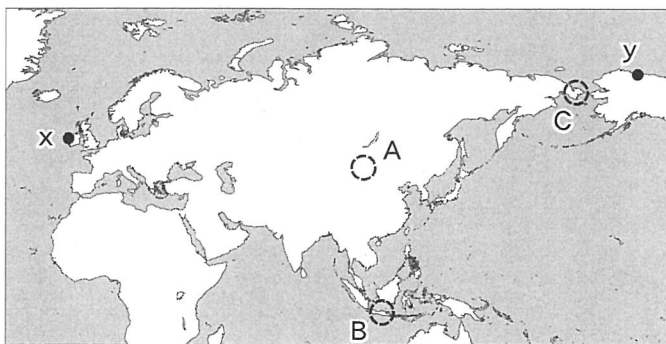


図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	A	A	B	B	C	C
イ	B	C	A	C	A	B
ウ	C	B	C	A	B	A

問 2 次の写真 2 は、図 1 中の地点 x と y でみられる、自然環境に対応した住居を撮影したものである。また、後の文章は、写真 2 に関することからについて述べたものである。文章中の下線部①～④のうちから、**適当でないもの**を一つ選べ。

8



地点 x でみられる住居



地点 y でみられる住居

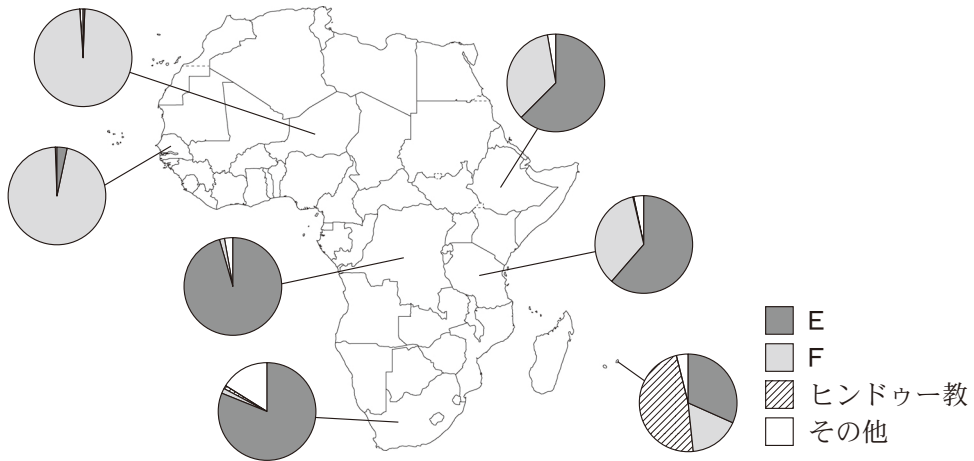
写真 2

大西洋に面した島に位置する地点 x では、①年間を通して強い西風が卓越している。また、地点 x でみられる伝統的な住居では、②壁面や屋根に石や草が用いられている。

北極圏内に位置する地点 y は、気温が低く、③断熱性を高めるために窓を小さくした住居がみられる。また、④多雪により出入口が塞がることを防ぐため、床面が地表から離れている。

地理 A

問 3 アフリカの宗教は、地域ごとに共通性がみられる。次の図 2 は、アフリカのいくつかの国における宗教別の人口割合を示したものである。図 2 中の凡例 E と F は、イスラーム(イスラム教)とキリスト教のいずれかである。また、後の文章は、図 2 に関することがらについて述べたものである。イスラームに該当する凡例と、文章中の空欄サに当てはまる語句との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 9



統計年次は 2010 年。Pew Research Center の資料により作成。

図 2

E の宗教は、アフリカ北東部の一部の国で古くから信仰されていたほか、中部や南部では植民地期以降に教徒が増えた。一方、F の宗教は、アフリカ西部に教徒が多数を占める国がある。また、アフリカ東部に F の教徒の割合が 3 分の 1 以上を占める国がみられる背景には、(サ) を利用した他地域とのかつでの交易の影響があげられる。

	①	②	③	④
イスラーム	E	E	F	F
サ	季節風	貿易風	季節風	貿易風

問 4 異なる食文化が接触することで、新しい料理が誕生することがある。次の写真 3 は、ベトナムでみられる、ある料理を撮影したものである。この料理について述べた文章中の空欄タには中国とフランスのいずれか、空欄チには後の文 J と K のいずれかが当てはまる。空欄タに当てはまる国名と、空欄チに当てはまる文との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

10



写真 3

この料理は、表面が硬いパンに具を挟んだものであり、このパンには (タ) の食文化の影響がみられる。野菜や肉などの具は、この地域の伝統的な調味料で味付けされている。この調味料は、(チ) ものである。

(チ) に当てはまる文

- J 魚と塩を原料とする液体であり、魚を塩漬けにして発酵させた
- K トマトと塩を原料とするペーストであり、トマトを煮詰めた

	①	②	③	④
タ	中国	中国	フランス	フランス
チ	J	K	J	K

地理 A

問 5 国境を越えた観光行動には、各国の経済状況や国家間の結びつきなどが反映される。次の表 1 は、ヨーロッパのいくつかの国における、2018 年の外国人延べ宿泊者数に占める上位 3 か国とその割合、および 2019 年の国際観光収支*を示したものであり、P～R は、イギリス、スペイン、ドイツのいずれかである。国名と P～R との正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

11

*ある国における居住者が外国を旅行した際に支出した金額を、外国から来た旅行者が国内で支出した金額から差し引いた値。支出金額には交通費を含まない。

表 1

		P		Q		R	
延べ宿泊者数に 占める割合(%)	1 位	オランダ	13.0	R	26.8	アメリカ 合衆国	10.9
	2 位	スイス	7.9	P	19.3	フランス	7.1
	3 位	アメリカ 合衆国	7.6	フランス	8.6	P	6.6
国際観光収支 (億ドル)		- 501		517		- 190	

UNWTO の資料などにより作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
イギリス	P	P	Q	Q	R	R
スペイン	Q	R	P	R	P	Q
ドイツ	R	Q	R	P	Q	P

問 6 世界では、時差を利用した経済・余暇活動がみられる。地域間の時差を利用した事例としては**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

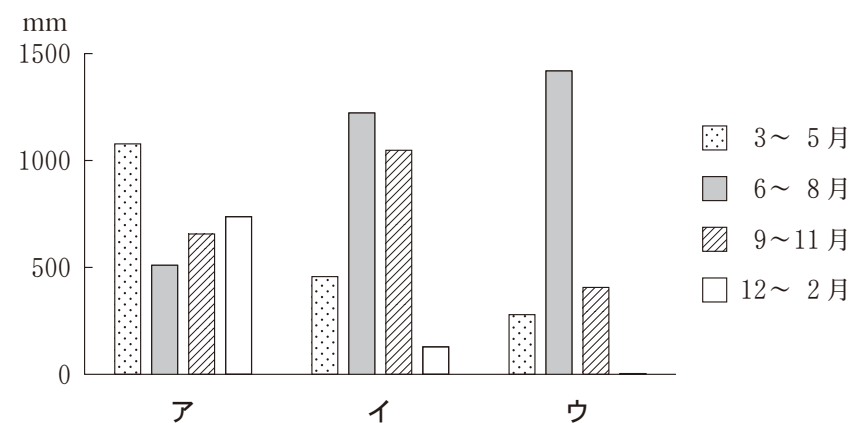
12

- ① アメリカ合衆国のいくつかの企業は、昼夜を通して継続的にソフトウェア開発を行うために、インドの企業と連携している。
- ② 太平洋中央部に位置するキリバスは、世界で最も早く新年を迎える国であり、その瞬間を体験しようとする観光客が世界各地から訪れている。
- ③ 北京で開催された世界的なスポーツイベントでは、アメリカ合衆国のテレビ視聴者の生活時間に合わせて競技が行われた。
- ④ ヨーロッパのいくつかの国では、サマータイムを導入して消費電力を抑制している。

地理 A

第 3 問 東南アジアに関する次の問い(問 1～6)に答えよ。(配点 20)

問 1 東南アジアは、主に熱帯に属している。次の図 1 中のア～ウは、後の図 2 中の地点 A～C のいずれかにおける降水量を時期別に示したものである。また、後の図 3 中の j と k は、A～C のいずれかが属する気候区でみられる特徴的な植生を模式的に示したものである。地点 B に該当する降水量と模式図との組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 13



気象庁の資料などにより作成。

図 1

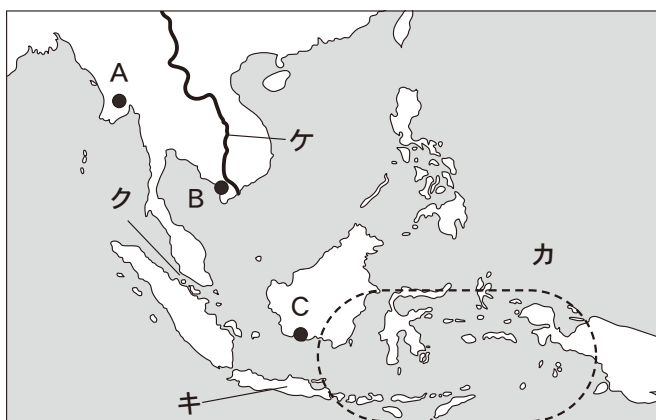


図 2

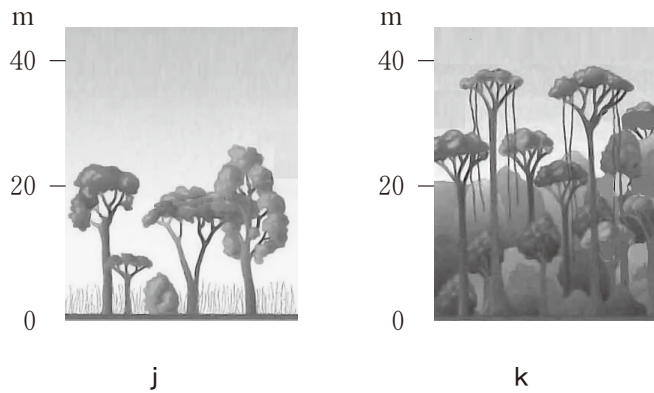


図 3

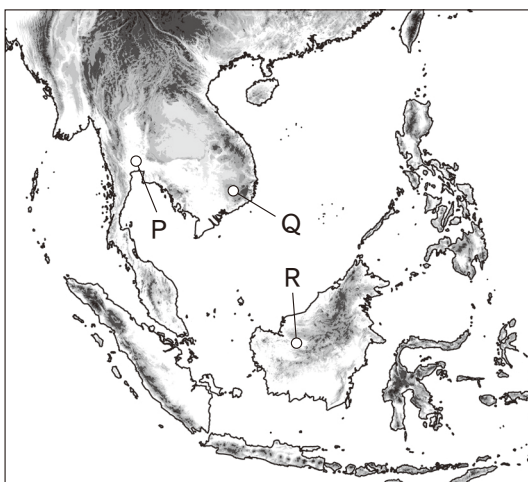
	①	②	③	④	⑤	⑥
降水量	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
模式図	j	k	j	k	j	k

問 2 次の文章は、図 2 中のカ～ケに関することがらについて述べたものである。文章中の下線部①～④のうちから、**適当でないもの**を一つ選べ。 14

カ の範囲は、環太平洋造山帯とアルプス = ヒマラヤ造山帯に含まれる位置にあり、① 火山が多くみられ、地震も多発している。 キの島は、稲作が盛んであり、② キの島が属する国で人口が最大の島となっている。 大陸部と島嶼部^{とうしょ}の境界に位置するク の海峡は、③ 南アジアと東アジアをつなぐ海上交通の要衝となっている。 大陸部にあるケの河川は、河口付近に低湿地が広がり、④ 下流域は世界有数の綿花栽培地帯となっている。

地理 A

問 3 次の図 4 中の P～R は、東南アジアにおける農作物の主な栽培地点を示したものである。また、後の写真 1 中のサ～ス は、P～R のいずれかにおける景観を撮影したものである。P～R とサ～ス との正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 15



色の濃い部分ほど標高の高い地域を示している。国土地理院の資料により作成。

図 4



サ

シ

ス

写真 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	サ	サ	シ	シ	ス	ス
Q	シ	ス	サ	ス	サ	シ
R	ス	シ	ス	サ	シ	サ

問 4 次の表 1 は、東南アジアのいくつかの国における、宗教に関する祝祭日を時期別に示したものであり、タ～ツは、シンガポール、タイ、フィリピンのいずれかである。国名とタ～ツとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

16

表 1

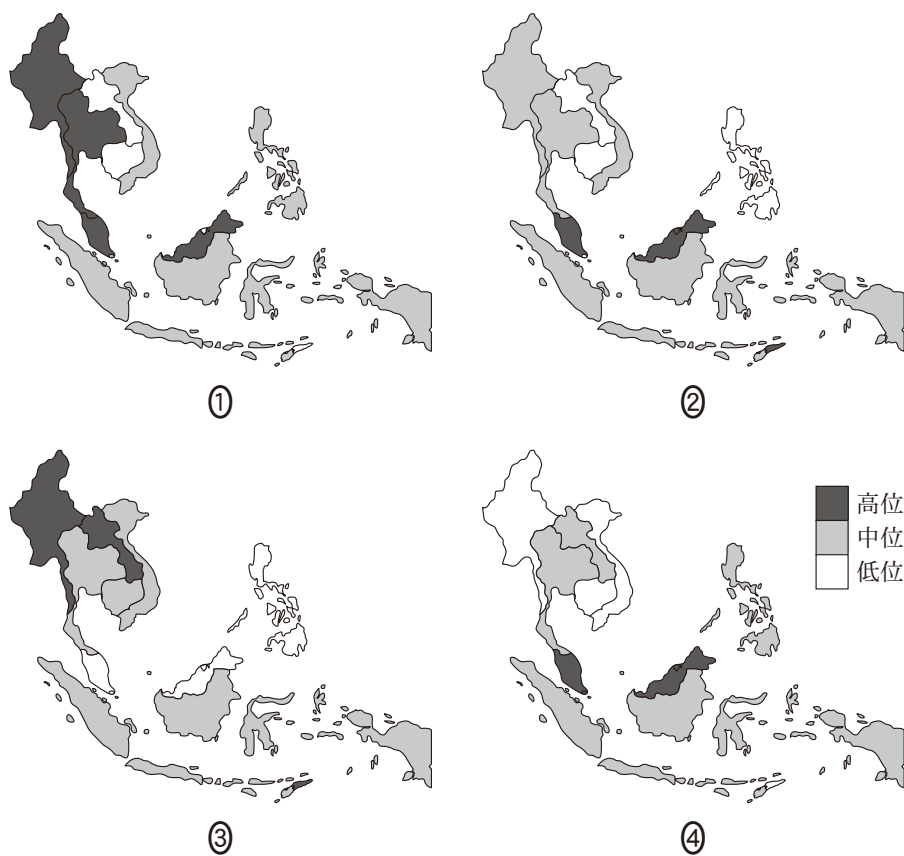
	タ	チ	ツ
1～3月		万仏節	
4～6月	聖木曜日 聖金曜日 聖土曜日 ラマダーン明け祝日	灌仏節 仏誕節	聖金曜日 ラマダーン明け祝日 仏誕節
7～9月	イスラム教犠牲祭	三宝節	イスラム教犠牲祭
10～12月	諸聖人の日 聖マリアの祝日 クリスマスイブ クリスマス		ヒンドゥー灯明祭 クリスマス

祝祭日は 2021 年時点。いくつかの祝祭日は名称の一部を省略。
ジェットロの資料により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
シンガポール	タ	タ	チ	チ	ツ	ツ
タイ	チ	ツ	タ	ツ	タ	チ
フィリピン	ツ	チ	ツ	タ	チ	タ

地理 A

問 5 次の図 5 中の①～④は、東南アジアにおける、第 1 次産業就業者の割合、1 人当たり GNI、GDP に占める製造業の割合、GDP に占める石油収入の割合のいずれかを国別に示したものである。第 1 次産業就業者の割合に該当するものを、図 5 中の①～④のうちから一つ選べ。 17



統計年次は 2019 年。
国際連合の資料などにより作成。

図 5

問 6 次の表 2 は、東南アジアのいくつかの国を輸出依存度*と人口により 4 つに分類したものであり、X～Z には、後の国群マ～ムのいずれかが当てはまる。X～Z とマ～ムとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

18

*GDP に対する輸出額の割合。

表 2

		人 口	
		5000 万人未満	5000 万人以上
輸出依存度	50 % 未満	ブルネイ ラオス	X フィリピン
	50 % 以上	Y シンガポール	Z

統計年次は、人口が 2019 年、輸出依存度が 2015～2019 年の平均。
国際連合の資料などにより作成。

国 群

- マ インドネシア・ミャンマー
- ミ カンボジア・マレーシア
- ム タイ・ベトナム

	①	②	③	④	⑤	⑥
X	マ	マ	ミ	ミ	ム	ム
Y	ミ	ム	マ	ム	マ	ミ
Z	ム	ミ	ム	マ	ミ	マ

地理 A

第 4 問 高校生のサヤさんたちは、都市への人口集中とそれに伴う課題について、発展途上国と先進国とを比較しながら探究した。サヤさんたちの探究に関する次の問い(問 1～6)に答えよ。(配点 20)

問 1 都市への人口集中の状況が発展途上国と先進国で異なることを考えるために、先生は、サヤさんたちに次の表 1 を提示した。表 1 は、いくつかの国における都市人口率、都市人口の増加率、総人口に占める首位都市の人口割合を示したものであり、ア～ウは、イギリス、タイ、ブラジルのいずれかである。国名とア～ウとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 19

表 1

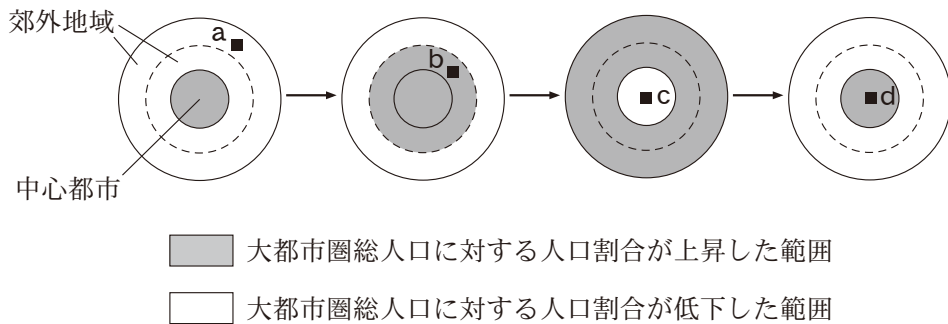
(単位：%)

	都市人口率 (2015 年)	都市人口の増加率 (1990～2015 年)	首位都市の 人口割合
ア	85.8	60.0	5.8
イ	82.6	20.9	12.7
ウ	47.7	96.7	12.4

首位都市の人口割合は、2010 年、2011 年、2016 年のいずれか。
World Urbanization Prospects などにより作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
イギリス	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
タイ	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
ブラジル	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 サヤさんたちは、先進国の都市の発達過程において生じる問題について考えた。次の図1は、日本の大都市圏における発展段階モデルを示したものである。また、後の文は、図1中の地点 a～d のいずれかにおける特徴的な問題を述べたものである。後の文に当てはまる地点として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 20



郊外地域のうち、破線の内側は中心都市に近いことを、破線の外側は中心都市から離れていることを意味している。

富田和暁・藤井 正編『新版 図説大都市圏』などにより作成。

図 1

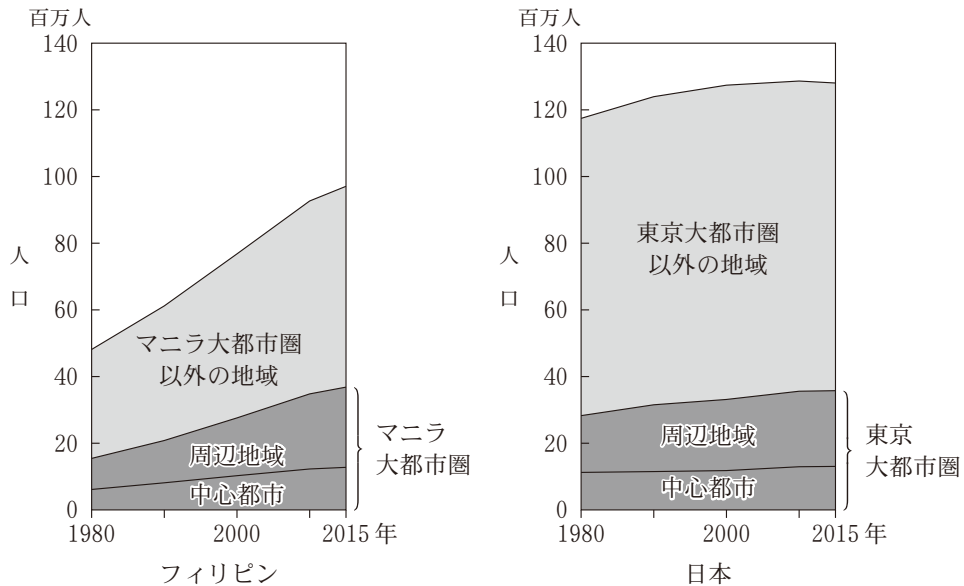
問 題

インフラストラクチャーが十分に整備されないままに無秩序な開発が相次ぎ、居住環境に課題のみられる住宅地が形成されるようになった。

- ① a ② b ③ c ④ d

地理 A

問 3 サヤさんたちは、都市への人口集中が進む背景について、フィリピンの首都マニラと東京を比較した。次の図 2 は、マニラ大都市圏と東京大都市圏における中心都市と周辺地域、およびそれぞれの国における両大都市圏以外の地域の人口推移を示したものである。図 2 に関することがらについて話し合った、先生とサヤさんたちとの会話文中の下線部 f ~ h について、正誤の組合せとして最も適当なものを、後の①~⑧のうちから一つ選べ。 21



マニラ大都市圏の中心都市はメトロマニラ、周辺地域はセントラル・ルソン地方、カラルソン地方。東京大都市圏の中心都市は東京都、周辺地域は埼玉県、千葉県、神奈川県。*Philippine Statistical Yearbook* などにより作成。

図 2

サ ヤ 「マニラ大都市圏内の周辺地域に比べ、東京大都市圏内の周辺地域の人口増加は小さいです。この背景として、東京大都市圏内の周辺地域では、
f 住宅取得を理由とした人口流入が少なくなってきたことや、既存の居住者の加齢により、高齢化が進んできたことが考えられます」

先生 「東京大都市圏に比べ、マニラ大都市圏では中心都市の人口増加が大きい
 です。これはなぜでしょうか」

タケル 「フィリピンでは、g マニラ大都市圏以外に居住する高齢者の多くが、大
 都市の利便性を求めてマニラへ住居を移すからだと思います」

サヤ 「h マニラ大都市圏以外の人口増加が続いていることから、今後もマニラ
 大都市圏以外からマニラ大都市圏への人口移動は継続すると思います」

先生 「大都市圏の人口増加は、交通渋滞にもつながります。続いて交通渋滞を
 解消するための取組みについて考えてみましょう」

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
f	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
g	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
h	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤

問 4 サヤさんたちは、先進国の都市交通にかかわる取組みについてまとめた。交
 通渋滞解消のための取組みとしては**適当でないもの**を、次の①～④のうちから
 一つ選べ。 22

- ① 郊外の鉄道駅周辺に駐車場を整備することにより、鉄道に乗り換えて都市
 中心部に向かうことができるようにする。
- ② 自転車を共有して使用できる仕組みの構築や駐輪場の整備により、都市内
 での自転車による移動を増やす。
- ③ 都市内で充電スタンドを充実させることにより、ガソリン自動車から電気
 自動車への転換を進める。
- ④ 都市に乗り入れる自動車に対して課金することにより、都市への自動車の
 流入を抑える。

地理 A

問 5 サヤさんたちは、インドネシアのジャカルタを例に、発展途上国の大都市における交通渋滞の実態と対策を考察した。次の表 2 は、ジャカルタにおける交通手段の利用割合の変化を示したものであり、図 3 は、鉄道と地下鉄の路線と、都心部に向かう鉄道のいくつかの区間における乗車率を示したものである。表 2 と図 3 をもとにサヤさんたちが話し合った会話文中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。

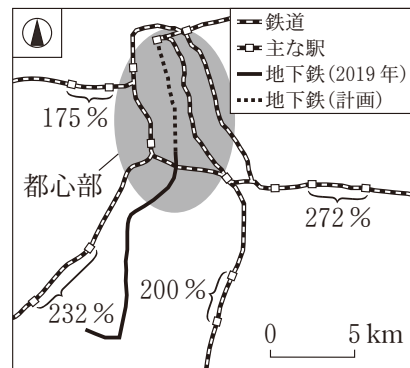
23

表 2

(単位：%)

	2002 年	2018 年
自家用車	8.7	12.0
バイク	13.1	62.8
バス	32.8	2.4
鉄道	1.3	1.4
徒歩・自転車	40.3	17.0
その他	3.8	4.4

JICA の資料により作成。



図中の数値は 2017 年の乗車率であり、調査駅間の都心方面への朝の時間帯における乗客数を収容可能乗客数で除したものの。JICA の資料により作成。

図 3

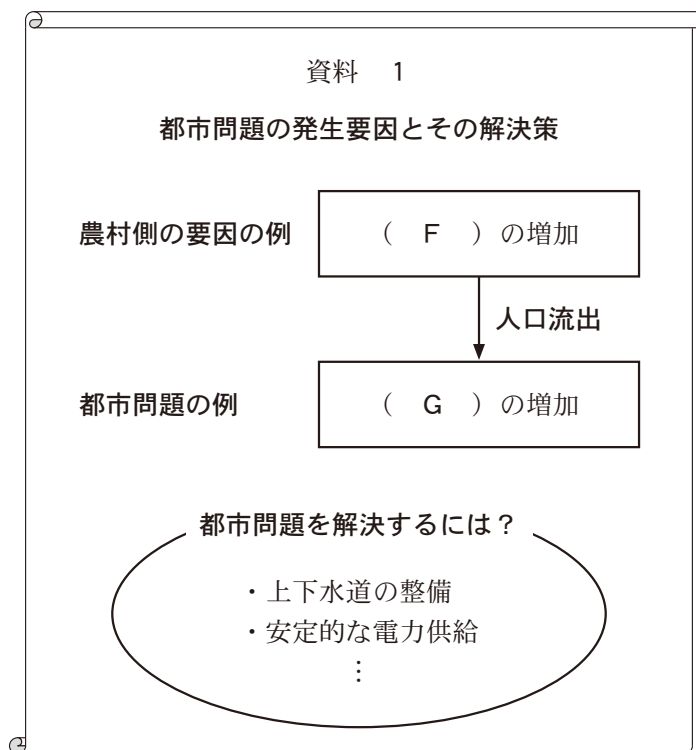
サ ヤ 「① バスや徒歩・自転車の利用割合が大幅に低下している一方で、バイクや自家用車の利用割合は上昇しているね。交通渋滞を減らすにはどうしたらよいのかな」

タケル 「② 鉄道は、利用割合が小さく車内の混雑も少ないので、鉄道の利用を増やすことが効果的だと思うよ」

サ ヤ 「ジャカルタでは、2019 年に地下鉄が開通したそうだよ。③ 地下鉄は都心部と周辺地域を結んでいて、今後も延伸が計画されているね。地下鉄の開通は、交通渋滞の緩和に寄与することが期待されていると思うよ」

タケル 「交通渋滞は、④ 騒音などで周辺地域の生活環境にも影響を及ぼすよ。今後も交通渋滞を減らしていく取組みが必要だね」

問 6 人口集中に伴う都市問題について考察してきたサヤさんたちは、その解決策を考える中で、都市問題とその発生要因について、発表のためのポスターを作成した。次の資料 1 は、発展途上国において都市への人口流出を引き起こす農村側の要因と、都市において発生する問題を示したものである。資料 1 中の空欄 F には雇用機会と余剰労働力のいずれか、空欄 G には空き家とスラムのいずれかが当てはまる。空欄 F と G に当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 24



	①	②	③	④
F	雇用機会	雇用機会	余剰労働力	余剰労働力
G	空き家	スラム	空き家	スラム

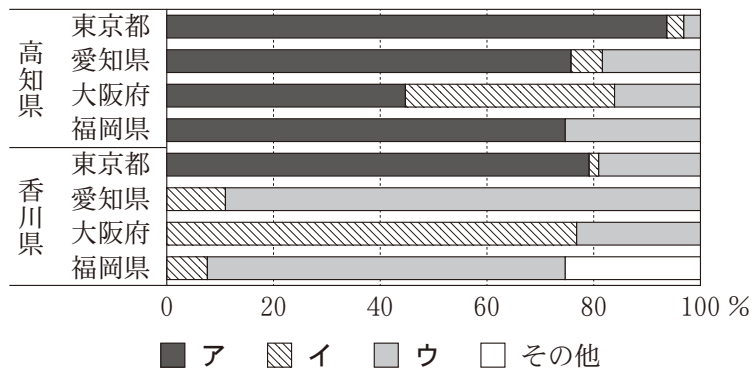
地理 A

第 5 問 香川県高松市の高校に通うセイラさんたちは、高知県須崎市周辺の地域調査を行った。この地域調査に関する次の問い(問 1～6)に答えよ。(配点 20)

問 1 次の写真 1 のニホンカワウソをモチーフにしたキャラクターに興味をもったセイラさんたちは、須崎市の位置する高知県の特徴を考えるために、高知県と香川県から東京都、愛知県、大阪府、福岡県への公共交通機関別の旅客数を調べ、図 1 を作成した。図 1 中の凡例ア～ウは、航空、鉄道、バスのいずれかである。公共交通機関名とア～ウとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 25



写真 1



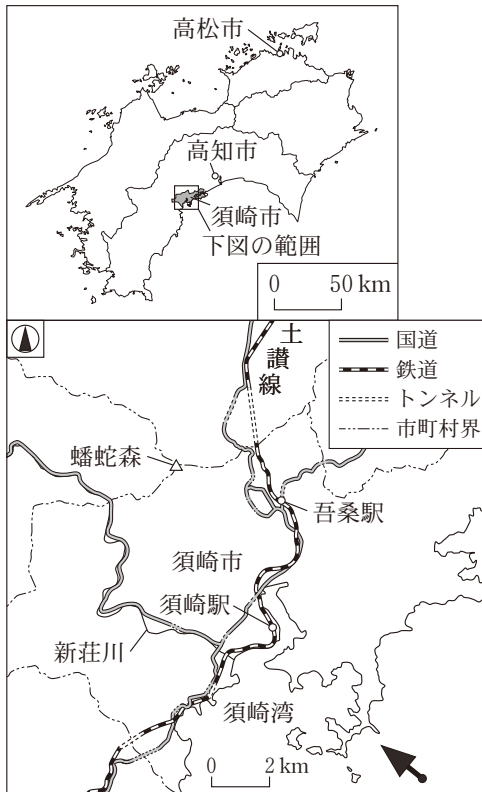
統計年次は 2019 年。国土交通省の資料により作成。

図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
航空	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
鉄道	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
バス	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

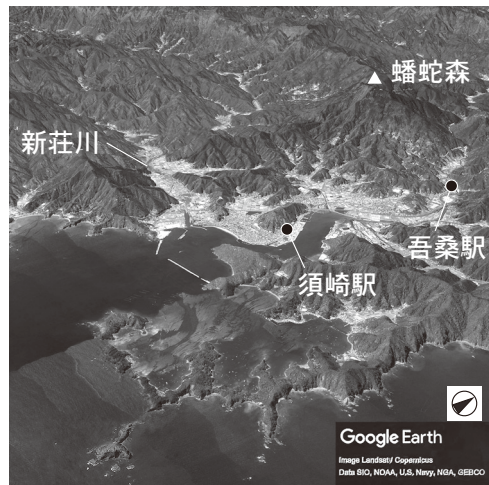
問 2 ニホンカワウソが新^{しんじょう}莊川沿いにかつて生息していたことに関心をもったセイラさんたちは、次の図2と図3を作成した。図3は、図2中の矢印の方向の景観を立体的に示したものである。図2と図3に関することがらについて述べた文として**適当でないもの**を、後の①～④のうちから一つ選べ。

26



地理院地図により作成。

図 2



Google Earth により作成。


図 3

- ① 須崎湾から北西に伸びる国道は、大部分が新莊川をつくった谷を通る。
- ② 須崎湾周辺では、沈水地形がみられる。
- ③ 土讃線の吾桑^{どさん あそう}駅は、砂州上に位置している。
- ④ 蟠蛇^{ぼんだがもり}森から吾桑駅にかけての斜面は、新莊川の流域には含まれない。

地理 A

問 3 ニホンカワウソが絶滅種に認定されていることを知ったセイラさんたちは、絶滅の主な要因を次の資料 1 にまとめ、人間活動の影響について調べることにした。まずセイラさんたちは、資料 1 に示した「市街地の拡大」に着目した。後の文章は、図 4 で示した須崎市中心部の 1936 年と 2017 年に発行された 2 万 5 千分の 1 地形図(原寸，一部改変)に関することがらを、セイラさんたちがまとめたものである。図 4 に関することがらについて述べた文章中の下線部①～④のうちから、最も適当なものを一つ選べ。 27

資料 1

ニホンカワウソとは？ 

- ・生態系の上位捕食者
- ・かつて日本各地の山・川・海に生息

絶滅までの経緯

- ・明治期以降 乱獲，密猟
- ・1928年 捕獲禁止令
- ・1979年 新莊川で最後の目撃
- ・2012年 絶滅種に認定

絶滅にかかわる要因

- ◆人間活動の影響
 - ・「市街地の拡大」
 - ・「農業の近代化」
 - ・「自然災害への対策」
 - ：
- ◆自然の影響

佐藤・加藤(2013)などにより作成。

1936 年から 2017 年の間に、須崎市中心部では大きく土地利用が変化した。この間に沿岸部では、① 富士ヶ浜が埋め立てられ、その埋立地上に鉄道が延伸された。 須崎港の沿岸は埋め立てられたほか、湾奥部には、② 斜面に盛土してセメント工場が建てられた。 内陸部では、市街地が須崎駅の西側に拡大し、③ 池ノ内の水田地帯では、ため池が完全に埋め立てられ、道路がつけられた。 ④ 池山の北側には、いくつかの公共施設が建てられ、新たな住宅地が広がった。

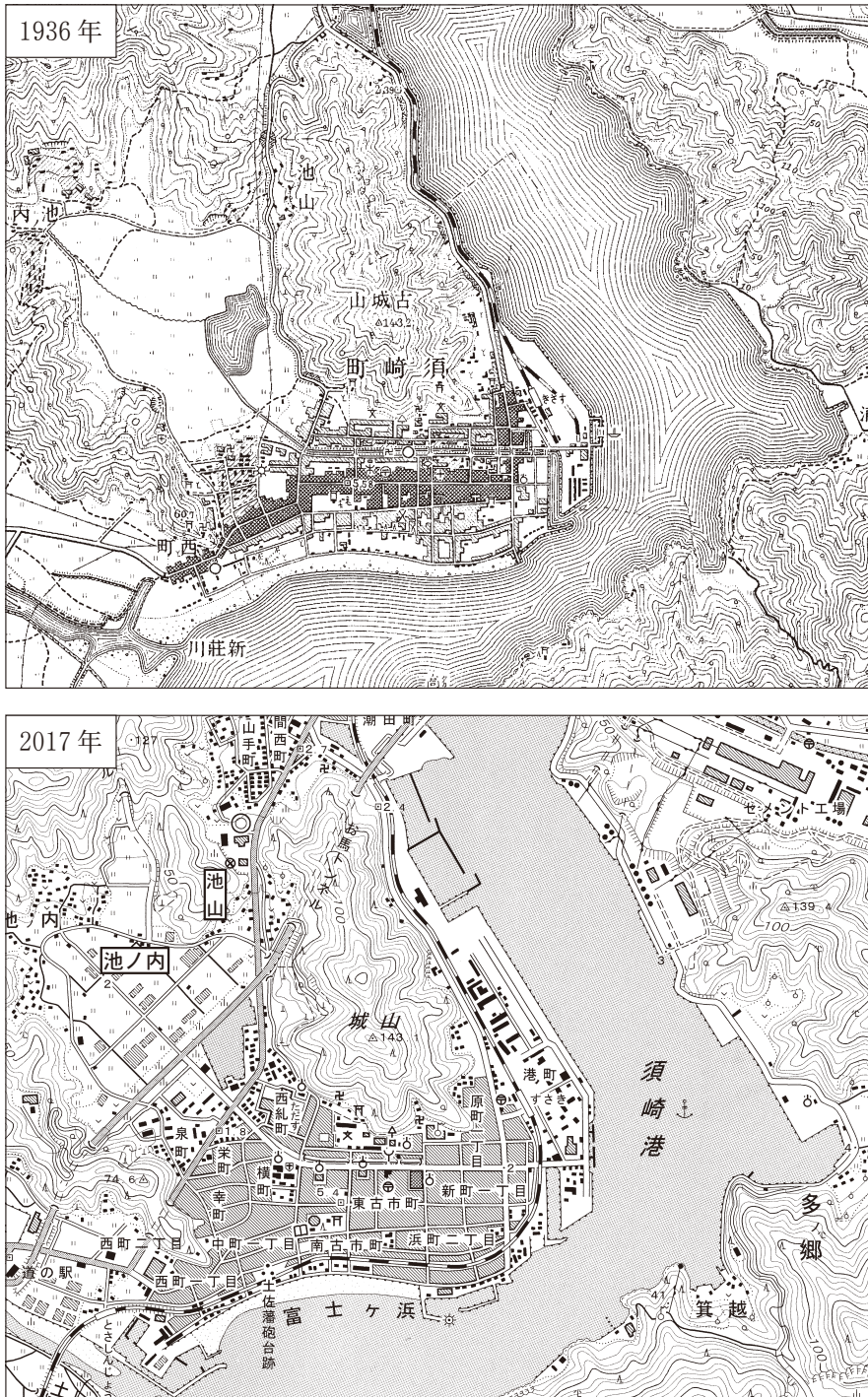
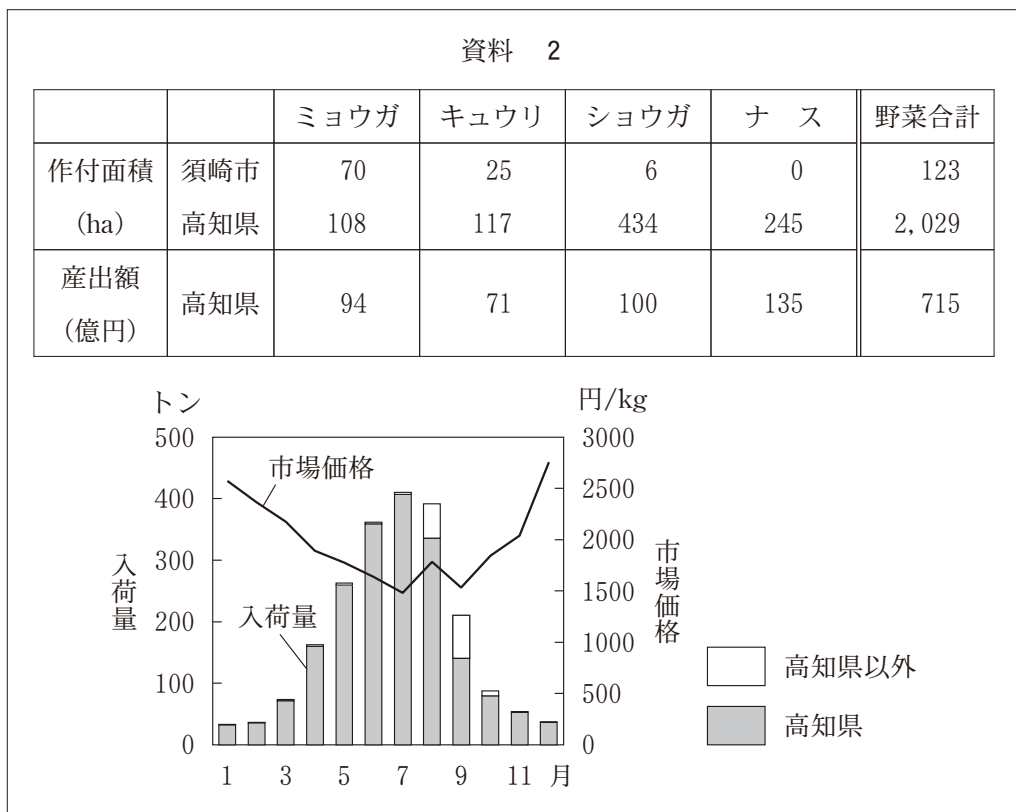


図 4

地理 A

問 4 次にセイラさんたちは、資料 1 に示した「農業の近代化」に注目し、須崎市と高知県の農業の現状について調べ、次の資料 2 にまとめた。資料 2 中の表は、須崎市と高知県における主な野菜の品目別作付面積と産出額を示したものである。また、資料 2 中の図は、東京都中央卸売市場におけるミョウガの生産地別入荷量と市場価格の月ごとの変化を示したものである。資料 2 に関することからについて述べた文として**適当でないもの**を、後の①～④のうちから一つ選べ。

28



統計年次は 2019 年。農林水産省の資料などにより作成。

- ① 高知県では、ミョウガの単位面積当たり産出額が、キュウリよりも高い。
- ② 須崎市は、高知県全体に比べミョウガとショウガの生産に特化している。
- ③ ミョウガの市場価格は、入荷量の少ない時期に高くなる傾向がある。
- ④ ミョウガの生産地別入荷量は、1 年を通して高知県産が過半数を占める。

問 5 セイラさんたちは、資料 1 に示した「自然災害への対策」について、須崎市周辺でみられる津波への対策事例の写真とその目的を次の資料 3 にまとめた。津波への対策の目的として下線部に誤りを含むものを、資料 3 中の下線部①～④のうちから一つ選べ。

29

資料 3



写真

河川の河口部にある水門

目的

① 津波の際に、河川の周辺住民が一時的に避難すること



写真

集落の海沿いにある堤防

目的

② 津波の際に、ゲートを閉め、堤防より陸地側の建物の被害を軽減すること



写真

集落内の津波に関する石碑

目的

③ 津波が石碑の地点まで到達したことを後世に伝えること



写真

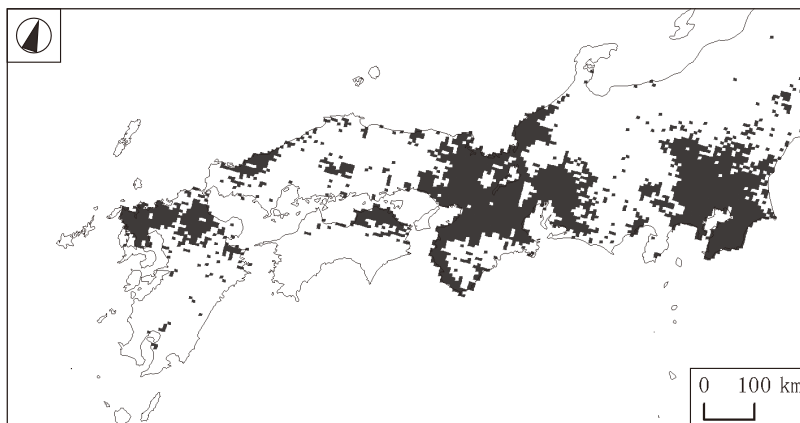
市街地内のビルの外壁に付けられた、幅が広く傾斜がゆるい階段

目的

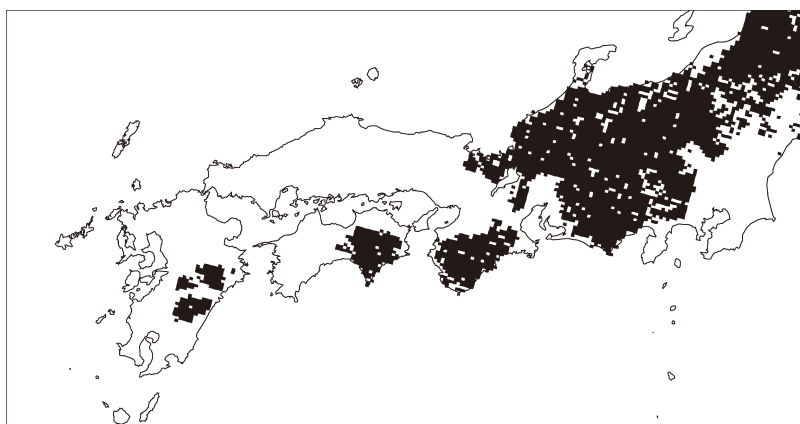
④ 津波の際に、高台まで避難できない周辺住民が緊急に避難すること

地理 A

問 6 セイラさんたちは、調査のまとめとして、次の図 5 を見ながら生物多様性について話し合った。図 5 は、日本の在来種のカモシカと外来種のアライグマの生息分布を 5 km メッシュで示したものであり、図 5 中のカとキは、カモシカとアライグマのいずれかである。また、後の会話文中の空欄 a にはカとキのいずれか、下線部 b に関する取組みの具体例には後の X と Y のいずれかが当てはまる。空欄 a に当てはまる分布図と、下線部 b に関する取組みの具体例との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 30



カ



キ

統計年次は、アライグマが 2017 年、カモシカが 2018 年。
環境省の資料により作成。

図 5

セイラ 「ニホンカワウソの絶滅には、乱獲や人間活動の拡大が大きく影響していたね。生物多様性の減少には、ほかにどのような理由があるかな」

ショウ 「人間がペットとして持ち込んだ外来種が在来種の生息をおびやかして、生物多様性に影響を与えていそうだね。図 5 のカモシカとアライグマの生息分布図を比較すると、(a)がアライグマだと判断できるね」

サ ナ 「ほかには、b 人間の自然への働きかけによって長らく保たれてきた生物多様性についても、働きかけを続けていくことが課題となっているよ」

セイラ 「生物多様性を考えるには、自然と人間との関係についてもっと深く学んでいく必要があるね」

下線部 b に関する取組みの具体例

X 石灰石の採掘のために斜面が削り取られた日本の山において、植生を回復させるための植林ボランティアに参加する。

Y 野焼きによって維持されてきた日本の草原において、担い手が少なくなった野焼き作業のボランティアに参加する。

	①	②	③	④
a	カ	カ	キ	キ
b	X	Y	X	Y